

第55回特別展

生誕250年江戸時代のマルチタレント

司馬江漢百科事展

洋風画家として、そして蘭学者としても活躍した、司馬江漢（1747～1818）。江漢は、はじめ鈴木春信風の浮世絵美人画、南蘋風花鳥画と画風を転々とさせた後、日本で初めて腐蝕銅版画（エッチング）による作品を完成させ、洋風画家としての名声を得た。その後、油彩で西洋の風俗や日本の名所風景を描くかわら、西洋の天文・地理学にも興味を示し、銅版による世界地図の製作、地動説の普及活動も展開した。神戸市立博物館には、この司馬江漢の作品が数多く収蔵されている。それ以外にも全国各地から作品・資料を集め、この江戸時代屈指の異才の生涯をふりかえる展覧会となった。



会期／平成8年11月2日（土）～12月23日（月）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社、サンテレビジョン、AM神戸

後援／みどり銀行文化振興財団

開催日数／44日

入館者数／11,614人（264人／日）

出品件数／160点



三囲景



楊弓場 明和年間